

## テーマ：蜂窩織炎

蜂窩織炎（ほうかしきえん）は、細菌が皮膚の下に入り込むことによって、患部が熱感・痛みをもって赤く腫れる皮膚の病気です。基本的には皮膚科で受診します。進行が早く、重症化すると敗血症にもつながることがあるため実は恐ろしい病気です。自然に治る病気ではないため、早めに蜂窩織炎と気付いて病院に受診し、治療を開始することが重要とされています。

## \* おもな症状

\* 痛み・発赤・腫脹・痒み・発熱・だるさ・関節痛



## \* 蜂窩織炎に注意が必要な人とは？

蜂窩織炎は老若男女誰でもかかりうる皮膚の感染症ですが、どんな人がなりやすいのでしょうか。以下のような方は、蜂窩織炎に注意しましょう。

- アトピーなどで皮膚にダメージがある方
- むくみが強い方
- 免疫が弱い状態の方（ステロイドなどの免疫抑制剤使用中、抗がん剤治療中、糖尿病、腎臓病、透析中など）

こうした方は、皮膚がダメージを受けやすかったり、感染に弱い状態だったりする影響で、蜂窩織炎を起こしやすいといえます。肌に症状が出た場合には、早めに受診するようにしてください。

## \* 蜂窩織炎の治療

軽症の場合は抗生物質を飲みながら通院します。炎症が急速に広がっている、高熱が続いているなど症状が重い場合は、医師から入院を勧められることが多いようです。そこで抗生物質を点滴しながら、回復を待ちます。また、膿瘍ができた場合は切開手術で膿を取り出さなければなりません。



内服薬



点滴



手術



安静

\* 下記のような場合は入院治療を検討します。

- ・発熱を伴う場合
- ・ぐったりしているなどの全身症状が強い場合
- ・症状の進行スピードが速い場合
- ・もともと他の疾患をもっており、感染が重症化するおそれがある場合
- ・経口薬で治療を開始したもののなかなか状態がよくなる場合

\* 症状の程度に限らず、治療のあいだは次のことに留意しましょう。

- ・できれば仕事や家事は控え、安静に過ごす
- ・皮膚に熱感があるときは、氷水やアイスノンなどで冷却する
- ・安静時、患部は高い位置に保つ
- ・入浴は血行をよくして症状を悪化させるので控える
- ・飲酒・マッサージ・運動は改善するまで行わない

冷やす



禁酒



患部挙上



安静



～おわりに～

蜂窩織炎は一般的な症状や治療方法があったとしても、患者さんによってその内容よりも軽い症状で済んだり、もっと悪化していったりと病気の進み方がそれぞれ全く違います。ですので、やはりその症状を軽くみたり、受診を後回しにしたりせずなるべく早期に受診し治療を受けるようにしましょう。皮膚科の病気ではありますが、幅広く見られる一般的な感染症のため、内科でも診療が可能です。特に普段かかっている病院がなくて初めて受診するのであれば、皮膚科のクリニックが良いでしょう。

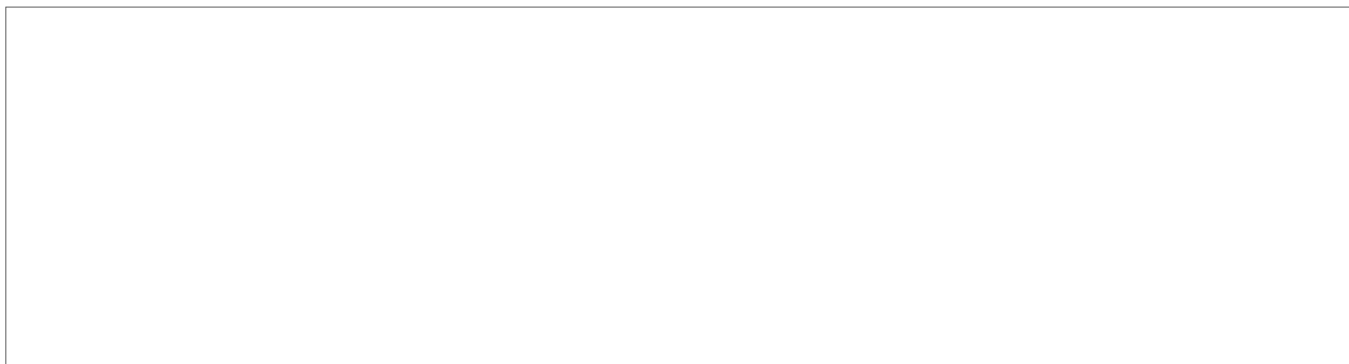


\* 症状の程度に限らず、治療のあいだは次のことに留意しましょう。

- ・できれば仕事や家事は控え、安静に過ごす
- ・皮膚に熱感があるときは、氷水やアイスノンなどで冷却する
- ・安静時、患部は高い位置に保つ
- ・入浴は血行をよくして症状を悪化させるので控える
- ・飲酒・マッサージ・運動は改善するまで行わない

- ・発熱を伴う場合
- ・ぐったりしているなどの全身症状が強い場合
- ・症状の進行スピードが速い場合
- ・もともと他の疾患をもっており、感染が重症化するおそれがある場合
- ・経口薬で治療を開始したもののなかなか状態がよくなる場合
- ・入院しての安静が必要な場合

～おわりに～



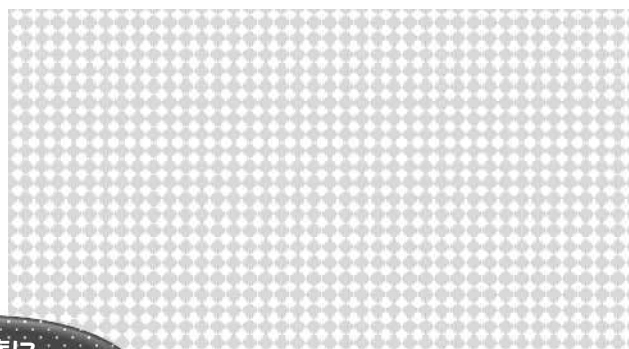
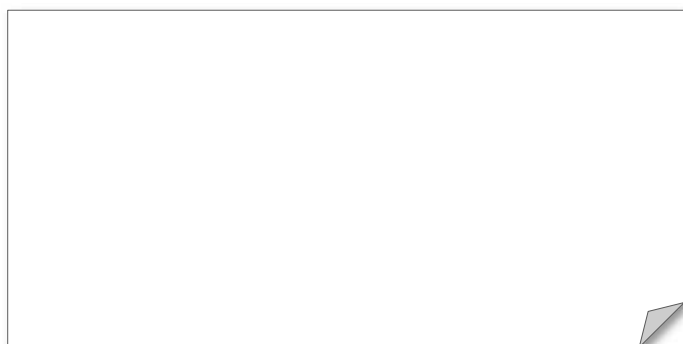
バランスの良い  
食生活

良質な睡眠

ストレスの解消

予防接種を受ける

予防接種を受ける



熱中症に  
なりやすい条件が  
そろっています

膀胱炎の治療とともに、  
原因となっている疾患の治療  
を行います。



- ・ できれば仕事や家事は控え、安静に過ごす
- ・ 皮膚に熱感があるときは、氷水やアイスノンなどで冷却する
- ・ 安静時、患部は高い位置に保つ
- ・ 入浴は血行をよくして症状を悪化させるので控える
- ・ 飲酒・マッサージ・運動は改善するまで行わない